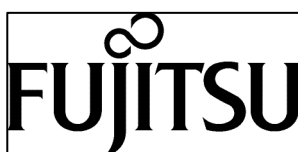


GP5-SB102

CRT/KB 切替器(8ch)

CA05951-4540

取扱説明書



【 ご注意 】

- 1) 本製品及び本書は富士通株式会社の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、
改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがありま
す。
- 3) 本製品及び本書の内容について、不明な点やお気づきの点がございましたら、保
守サービスセンターまでご連絡ください。
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いか
ねますのでご了承ください。
- 5) 本製品が「外国為替及び外国貿易管理法」に基づき規制されている貨物または技
術に該当する場合は、当該製品を輸出するに際して同法に基づく許可が必要にな
ります。 したがって、国外に持ち出す場合には必ず日本国政府の輸出許可
申請など必要な手続きをお取りください。
- 6) 本製品は、生命維持のための医療機器用、海底中継器用、航空宇宙用、原子力制
御用など極めて高い信頼性が要求される機器への搭載を目的としていません。
これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障によ
り、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任
も負いかねます。
- 7) 本製品は弊社保守部門以外での改造または修理をしないで下さい。 予期せぬ不具
合が発生する場合があります。
- 8) 本製品は金属、プラスチック部品を使用しています。 廃棄するときは各自治体の
指示に従って下さい。
- 9) 本書に記載されている会社名、商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標で
す。

ご使用上のご注意

ご使用の前に [ご使用上のご注意] をよくお読みの上、正しくご使用ください。ここに記載の注意事項はユーザー様への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

- サーバーとの接続はオプションの専用ケーブルをご使用ください。最大ケーブル長は 5m です。カスケード用ケーブルは 1.8 m をご使用下さい。それ以上の長さは保証対象外ですので、ご了承ください。
- サポート外の特殊仕様のキーボード(プログラマブル/ワイヤレス)/マウス(ワイヤレス等、専用ドライバ含む)は動作しませんので、適合するものをご使用ください。
- 本機のキーボードコネクタは PS/2 専用(6 ピン ミニ DIN メス)ですが、PS/2<->AT 変換コネクタを使用すれば AT タイプ(5 ピン DIN オス)のキーボードも接続できます。ただし、USB タイプのキーボードは接続できません。
- 本機のマウスコネクタは PS/2 専用(6 ピン ミニ DIN メス)です。シリアルや USB タイプのマウスは接続できません。
- マウスの種類によっては正常に動作しないこともあります。ホイール付マウス等のスクロール機能を持つマウスの場合、サポートソフトによってはスクロールが正常に機能しなくなる場合がありますので、ご了承ください。
- キーボードとマウスのコネクタは同じ形状ですので、向きを確認し正しく接続してください。無理に差し込んだり間違えて接続すると、動作しないばかりか故障の原因となる場合があります。
- コンソールのキーボード、マウスと各サーバーの設定は正しく設定してください。設定が間違っていると正常に動作しません。
- 各ポートの[KB / Mouse][1 ~ 8 DISP]とサーバーは同じポート番号に接続してください。モニターとキーボード、マウスのポート番号が違っていると正しく選択できません。
- 各コネクタの抜き差しはサーバーの電源が OFF になっていることを確認してから行ってください。また、静電気にも充分注意し放電してから行ってください。静電気が貯まったままや、電源が ON のまま抜き差しすると、サーバーまたは本機の故障の原因となる場合があります。その場合の故障は保証対象外ですので、ご了承ください。
- LVDS対応ディスプレイは接続できません。
- 本機はサーバーのキーボード/マウスポートからの電源で動作しますので、正しく接続してください。また本機1台に付き必ず1台以上のサーバーの電源をONにしてください。電源が正しく供給されない場合は動作しません。
- 使用方法や環境によっては、内部電圧が低下して動作しない場合があります。その場合は、前面パネルの[LOW POWER]LEDが点灯(赤色)しますので、オプションの専用ACアダプタを接続してください。
- ACアダプタは専用のものをご使用ください。適合しないACアダプタをご使用になると正常動作しないばかりか故障の原因になります。
- 消費電流の大きなキーボード、マウスをお使いになる場合やカスケード接続時には、本機の内部電圧が低下し不安定になる場合があります。その場合はオプションの専用ACアダプタを接続してください。また、消灯しているにも関わらず、安定に動作しない場合も専用ACアダプタを接続して正常動作するかご確認ください。
- 専用ACアダプタをご使用になる場合は、カスケード接続するしないに関わらず1段目(マスター側)に接続してください。2段目(スレーブ側)には接続する必要はありません。

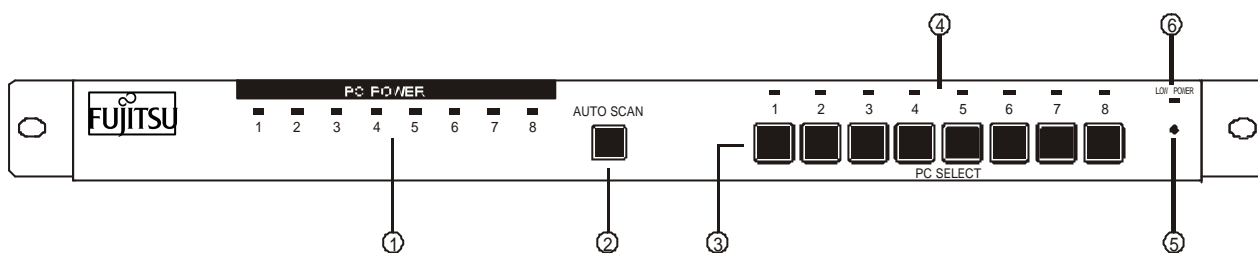
- カスケード接続は本機（CRT/KB切替器）だけで行なってください。 他社製の切替器とは接続できません。
 - カスケード接続にてマスター側にサーバーを接続せず、スレーブ側にのみサーバーを接続した場合はマスター側に専用 AC アダプタを接続することをお薦めします。
 - 接続数はマスターも含め最大9台(2段接続)です。 3段以上の接続はできません。
 - カスケード接続時においてLOW POWER LEDが点灯した場合、下記の手順で電源操作を行えば、LOW POWER LEDは点灯せず、専用ACアダプタ無しでご使用できる場合があります。
-
- 電源ON手順：まず始めにマスター側に接続されたサーバーの電源をONしてください。次にスレーブ側に接続されたサーバーの電源をONしてください。
 - 電源OFF手順：その逆の手順で電源をOFFしてください。
-
- モニターのコネクタは向きを確認し、固定ネジで確実に接続してください。 確実に接続されないと、正常に動作しないばかりか故障の原因となる場合があります。
 - 接続するモニターは各サーバーでサポートされたものをご使用になり、解像度を正しく設定してください。 本機がサポートする解像度は1600x1200、帯域巾200MHzまでです。 また、ご使用のモニターや解像度の設定によっては切替後に表示がずれることがあります。 その場合はモニターまたはビデオカードの設定をしてください。

特 徴

- 複数台のサーバーを本機を接続することで、今まで各サーバー毎に接続していた複数台のコンソール（モニター、キーボード、マウス）を1組のコンソールで共有することができます。 したがって、設置スペースの大幅な節約が実現できます。
- 本機 1 台で最大 8 台のサーバーが選択できます。
- 本機を最大 9 台使用してカスケード接続すると、最大 6 4 台のサーバー選択が可能となります。
- 19 インチ EIA 規格ラックキャビネットに高さ 1U のスペースで収納できます。
- ラックキャビネット取付け時には、コンソールパネル部とリアパネル部（本体）が分離しておりますので、狭いキャビネット内でのサーバーへの接続作業がよりスムーズに行えます。
- 本機は全ポート（キーボード、マウス、各 PC ポート）毎に独立した制御用マイコン（MPU）が内蔵されています。 したがって、各サーバーのキーボードとマウスの状態（キーコードモード、Num、Caps、Scroll 状態とマウス出力モード）は各ポートの MPU がそれぞれ監視しますので、常に安定した切替が実現できます。
- 電源はサーバーから供給されますので、基本的には AC アダプタ等の外部電源は不要です。
- 電源電圧監視回路を内蔵していますので、電源状態を監視できます。 したがって、AC アダプタが必要な場合にも対応しました。
- PS/2 のキーボードとマウスをサポートします。
- 英語 / 日本語キーボード（101 ~ 109）をサポートします。
- 2 / 3 ボタンマウス、各種ホイール付マウス（Microsoft IntelliMouse、Microsoft IntelliMouse Explorer（USB and PS/2 Compatible）、Logitech / Logicool MouseMan Wheel+等）、IBM Scroll Point Mouse、Fujitsu FID677（マルチスクロールマウス）をサポートします。
- モニターは、VGA / SVGA / マルチシンクの解像度 1600x1200、帯域巾 200MHz までをサポートします。
- サーバーの選択はセレクトスイッチ、キーボード（ホットキーモード）で簡単にできます。
- ホットキーモードでは OSD 表示により、画面を見ながら切替ができます。
- オートスキャンはスイッチとホットキーで行えます。
- オートスキャンでは起動しているサーバーを自動的に切替えますので、各サーバーの状態が一定周期で監視できます。 また切替周期はキーボードにより 6 段階に調整できます。
- ホットキーは 2 種類のキー入力（Ctrl+Alt+Shift、Ctrl x2）から選択して設定できます。 ホットキーと同様のキーがアプリケーション等でバティングする場合から回避できますので、より有効的にホットキーが活用できるようになりました。

各部の名称と働き

● コンソールパネル



[PC POWER] LED

サーバーの電源が ON の時点灯します。

[AUTO SCAN] スイッチ

画面を自動的に切替えたい時に押します。再度押しますとオートスキャンが停止します。オートスキャン中は、PC SELECT LED が順に点滅（遅い）し、サーバーの操作はできません。

[PC SELECT] スイッチ

サーバーを選択する時に押します。POWER LED が点灯していないサーバーでも選択ができます。

[PC SELECT] LED

サーバーが選択された時点灯します。ホットキーモードでは点滅となります。

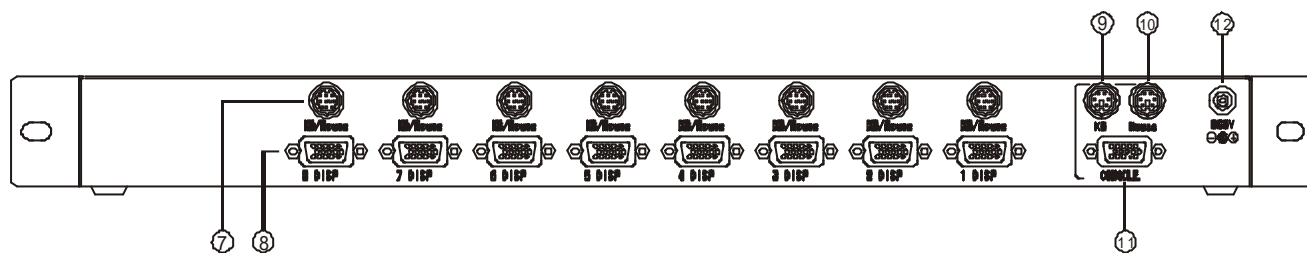
[RESET] スイッチ

通常は使用しません。万が一、選択ができない場合やキーボード、マウスが操作できなくなった時に使用します。シャープペン等の先で軽く押ししてください。本機は初期状態に戻りますので、サーバーを再起動することなく復帰できます。

[LOW POWER] LED

AC アダプタが必要なときに点灯（赤色）します。消費電流の大きなキーボードやマウスを接続したり、カスケード接続時に電圧低下で点灯する場合は、オプションの専用 AC アダプタを接続してください。

● リアパネル



[KB / Mouse] コネクタ

本機の各ポート(1~8)とサーバーのキーボード、マウスポートを専用ケーブルで接続します。

[1 ~ 8 DISP] コネクタ

本機の各ポート(1~8)とサーバーのモニターコネクタを専用ケーブルで接続します。

[KB] コネクタ

コンソールのキーボードを接続します。

[Mouse] コネクタ

コンソールのマウスを接続します。

[CONSOLE] コネクタ

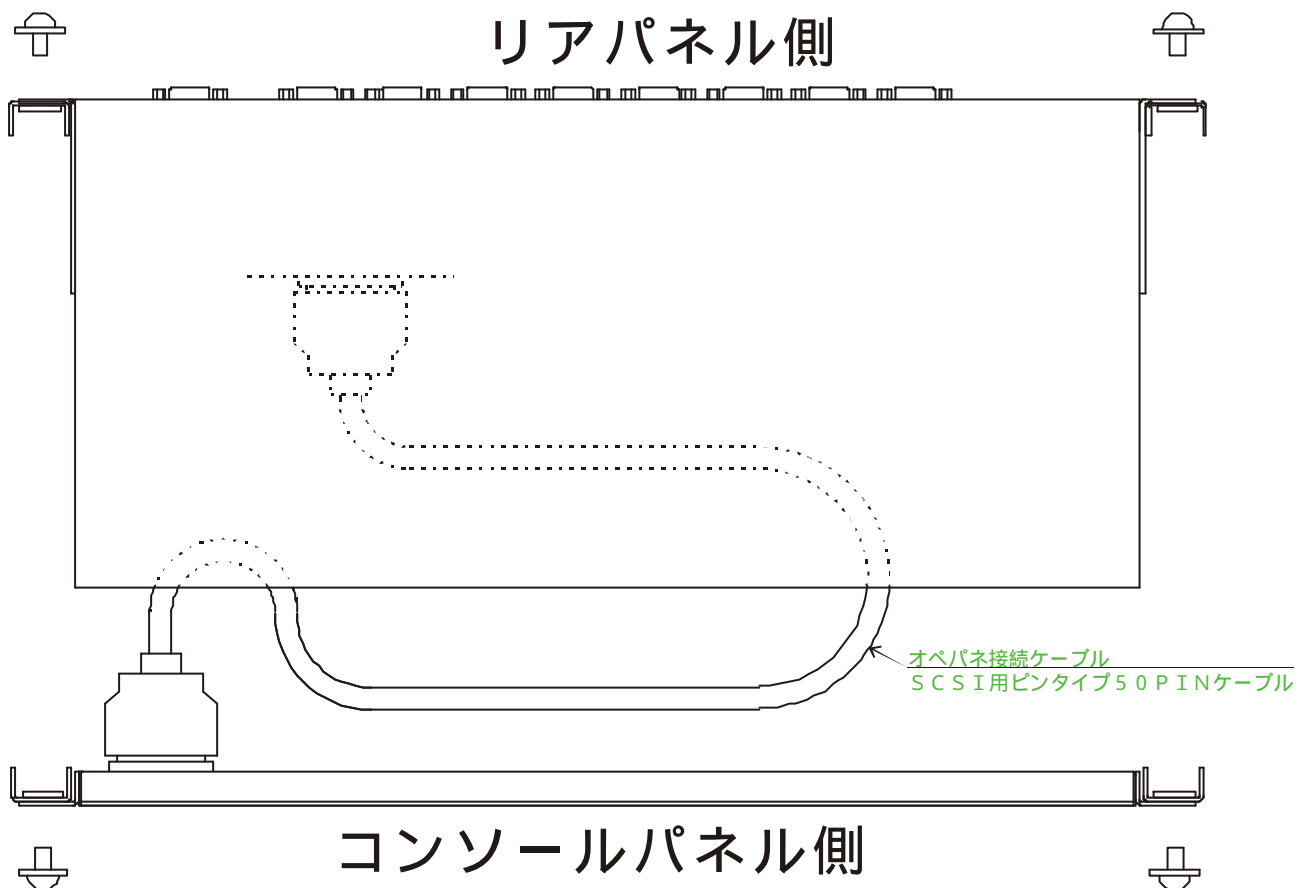
コンソールのモニターを接続します。

[DC 9V] コネクタ

LOW POWER LED が点灯(赤色)時、オプションの専用 AC アダプタを接続します。

設置方法

CRT / KB切替器は下図の通りラックに設置して下さい。



1. コンソールパネルをラックのフロント側からネジにて固定します。
2. リアパネルをラックのリア側よりネジにて固定します。
3. リア側底面に接続されているオベパネ接続ケーブルをコンソールパネルに接続します。

セットアップ

1. まずはじめに

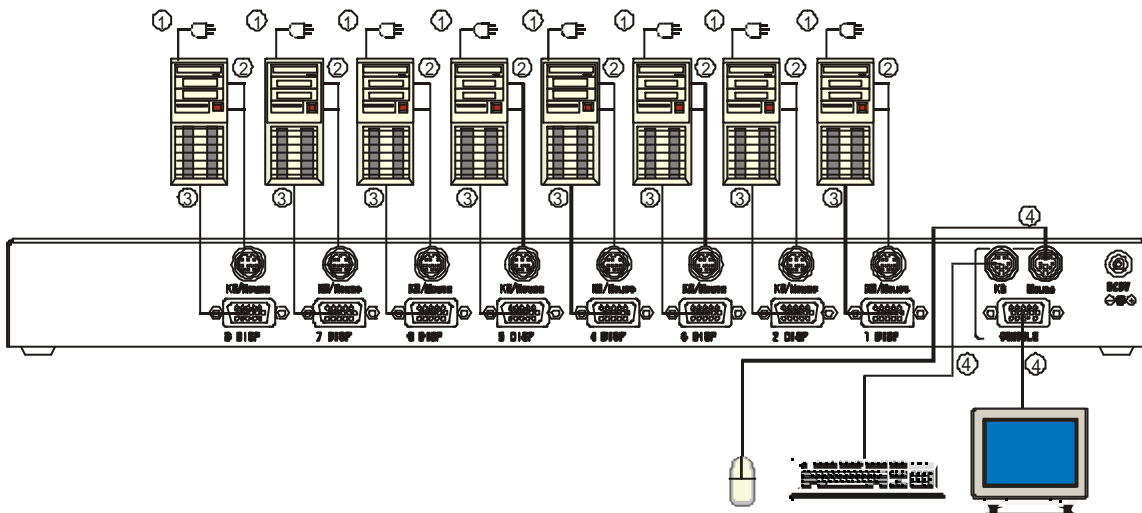
各サーバーの電源コードがコンセントに接続され、電源が OFF されていることを確認してください。

(の接続確認)

2. 1 段使用の場合 (本機 1 台使用の場合)

サーバーが最大 8 台まで接続可能です。

- 1) 1 台目のサーバーのキーボード / マウスコネクタと本機 [1 DISP] の上の [K B / Mouse] コネクタを専用ケーブル (K B / マウス分岐ケーブル) で接続します。接続はサーバー側を先に接続してください。 (を接続)
- 2) 次にその下の [1 DISP] コネクタとサーバーのモニターコネクタを専用ケーブル (モニターケーブル) で接続します。 接続はサーバー側を先に接続してください。 (を接続)
- 3) 2 ~ 8 台目も同じ要領で接続します。



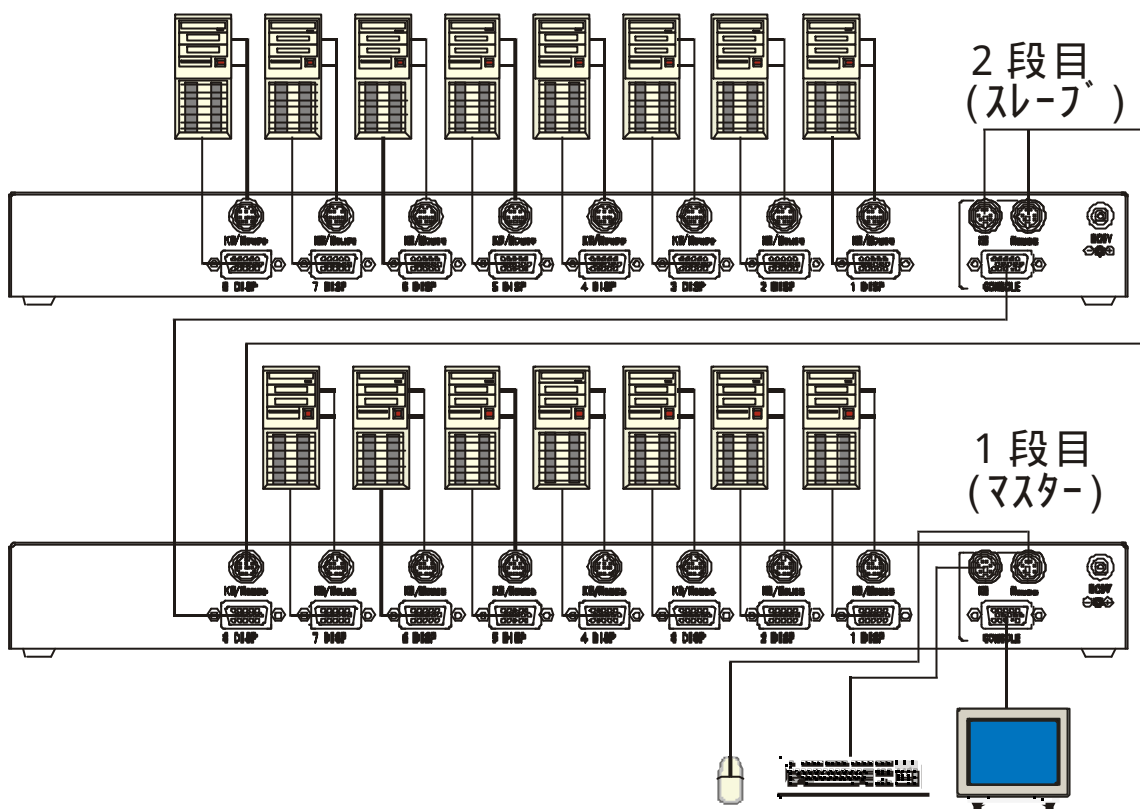
注) 一体型専用ケーブル使用時は、下記の接続となります。



3. 2 段使用の場合（カスケード接続で使用する場合）

本機をカスケード接続（最大：マスター1台、スレーブ8台）することにより、最大64台のサーバーが接続できます。

- 1) 2 段目の切替器（スレーブと言います）に[1 段使用の場合]と同じ要領で 1～8 台のサーバーを接続します。
- 2) 次に 1 段目の切替器（マスターと言います）の各 PC ポートの [K B / Mouse] [D I S P]コネクタと 2 段目のスレーブ側のコンソールポートの [K B] [Mouse] [C O N S O L E]コネクタをそれぞれの専用ケーブルで接続します。
- 3) さらにスレーブを増設する場合は、上記 1)、2)の要領で接続してください。スレーブは必ず2段までとしてください。3段接続はできません。



4. 各サーバーと切替器の接続が終了しましたら、マスター側の [KB] [Mouse] [CONSOL E]コネクタにキーボード、マウス、モニターを接続します。（ を接続）
5. 正しく接続されたことを確認したら、各サーバーを順に起動します。
6. 各サーバーを選択し、起動および設定を確認してください。
7. キーボード、マウス、モニターが正しく設定されていない場合はそれぞれを再設定 / 再起動してください。

ご注意

サーバーに使用する電源コードは3線式を用いてアース端子に接続して下さい。

操作方法

各サーバーの選択方法は、セレクトスイッチ、キーボード（ホットキーモード）の2種類の選択方法があります。また、選択中のサーバーをOFFにした場合はその状態が保持されます。その場合は次に選択したいサーバーへセレクトスイッチ、ホットキーで切替えてください。

1. セレクトスイッチによる選択（ノーマルモードと言います）

セレクトスイッチを押してください。選択したサーバーに切り替わり、PC SELECT LED が点灯します。

オートスキャンキーを押すと PC SELECT LED が遅い点滅に変わり、一定の周期で自動的に画面が切替ります。切替えの速さを調整したい場合は< >キーで速くなり、< >キーで遅くなります。キーを押す毎に 3/5/10（初期値）/20/40/60 秒の範囲で切替周期を選択できます。電源 OFF のサーバーはスキップします。オートスキャン中はサーバーへのキー入力、マウス操作はできません。ホットキーモードに移行したい場合は、オートスキャンモードを終了してから行って下さい。

オートスキャンは次の方法にて終了します。

オートスキャンキー、Enter キー：現在表示している画面に切り替わります。

ESC キー：オートスキャンを始めたときのサーバーに戻ります。

2. キーボードによる選択（ホットキーモードと言います）

ホットキーモードは次のキー操作方法で行います。

Ctrl、Alt、Shift キーを同時押下。（1回）

Ctrl × 2 回押下（Ctrl キーは素早く連続押下して下さい。）

ホットキーモードに入ると画面上に OSD にて選択画面が表示されます。

1 段 / 2 段接続にかかわらず、1 段目（マスター）の PC SELECT LED が点灯から速い点滅に変わります。

2 段目の PC SELECT LED は点灯のままで点滅はしません。

このモードではキーボードから操作を行い、セレクトスイッチでの選択はできません。

1) Ctrl+Alt+Shift からホットキーモードにはいった場合

Ctrl、Alt、Shift キーを同時押下にてホットキーモードに入ると画面表示が以下の表示となります。


オンスクリーン表示例

PC SELECTION			
NO.	NAME	NO.	NAME
1	PC 1	F 1	PC 5 0 1
2	PC 2	F 2	PC 5 0 2
3	PC 3	F 3	PC 5 0 3
4	PC 4	F 4	PC 5 0 4
5	PC 5	F 5	PC 5 0 5
6	PC 6	F 6	PC 5 0 6
7	PC 7	F 7	PC 5 0 7
8	PC 8	F 8	PC 5 0 8
ARW	: SELECT	0	: AUTO SCAN
ENT	: SET	ESC	: EXIT
TAB	: CHANGE NAME		
	: ALREADY SELECT		




マスター側

カスケード側

a) 画面の説明

1. 画面中央の左側（背景色 = 黒の部分）に CRT/KB 切替器の状態が表示されません。
2. 画面中央の右側（背景色 = 青の部分）にはカスケードされている CRT/KB 切替器の状態が表示されます。
3. 紫色に表示されている文字列が現在アローキー（カーソルキー）で選択可能なサーバーです。
4. 画面下部にはキー操作の簡単な説明が表示されます。
5.  は現在選択されているサーバーを示します。
6. 「NO.」の数値表示（1～8、F1～F8）が緑色に表示されているサーバーは電源が投入されていることを示します。

b) サーバー切替方法

1. 画面左側の CRT/KB 切替器のチャンネルをアローキー（カーソルキー）の  を使用して選択します。
2. その時カスケードされている場合は、選択されたチャンネルに応じて画面右側にカスケードされている CRT/KB 切替器の状態が表示されます。
3. カスケードされている場合は、アローキーの  を押すと画面右側のカスケードの状態表示部の文字列が紫色に表示され、その文字列が有効になります。
4. 同様にアローキーの  を使用してチャンネルを選択します。
5. Enter キーを押すと実際に切替が行われます。切替後は画面左上に約 3 秒間切り替わったサーバーの名称が表示されます。Esc キーを押すと切替を行わずホットキーモードから抜けます。

[直接選択]

<1>～<8>キーで行います。2 段接続の場合は、はじめに 1 段目（マスタ）を <1>～<8>キーで選択し、2 段目（スレーブ）は <F1>～<F8>キーで選択します。このキー操作により、直接画面を切り替える事ができます。切替を行うことでホットキーモードから抜けます。

[オートスキャンモード]

<0>（ゼロ）キーを押すと PC SELECT LED が遅い点滅に変わり、一定の周期で自動的に画面が切替ります。切替えの速さを調整したい場合は < > キーで速くなり、< > キーで遅くなります。キーを押す毎に 3/5/10（初期値）/20/40/60 秒の範囲で切替周期を選択できます。電源 OFF のサーバーはスキップします。オートスキャン中はサーバーへのキー入力、マウス操作はできません。ホットキーモードに移行したい場合は、オートスキャンモードを終了してから行って下さい。

オートスキャンは次の方法にて終了します。

オートスキャンキー、Enter キー：現在表示している画面に切り替わります。

ESC キー：オートスキャンを始めたときのサーバーに戻ります。

c) サーバーの名称登録・変更

アローキーでサーバーを切り替えるのと同様に、名称を登録・変更したいサーバーを選択します。

Tab キーを押します。

文字列が黄色に変化し、1 文字だけ黄色の背景となります。

キーボードで名称を入力して、Enter キーを押すと登録・変更されます。

Del キーで 1 文字削除、BS キーで後退します。

もし、登録を中止したい場合は Esc キーを押すと、登録を開始する前の画面に戻ります。

2) Ctrl キー 2 回押下にてホットキーモードに入った場合

Ctrl キー 2 回押下にてホットキーモードに入ると画面左上に OSD 表示が出ます。(Ctrl キーは素早く連続押下して下さい。)

a) 画面の説明

画面左上に CRT/KB 切替器の状態が OSD 表示されます。

切り替える前は、文字の背景が赤色で表示されます。

切り替えた後は、文字の背景が青色になり、接続を完了しホットキーモードを終了します。約 3 秒後に OSD 表示が消えます。

b) サーバー切替方法

文字の背景が赤色に表示されているときに、切り替えたいサーバーの番号キーを押すことにより画面が切り替わります。

<1>~<8>キーで切替を行います。2 段接続の場合は、はじめに 1 段目(マスタ)を<1>~<8>キーで選択し、2 段目(スレーブ)は<F1>~<F8>キーで選択します。

このキー操作により、直接画面を切り替える事ができます。

切替を行うことでホットキーモードから抜けます。

文字背景が赤色の場合は、サーバーへのキー入力、マウス操作はできません。

文字背景が赤色の画面に切り替えたい場合(ホットキーモードを終了したい場合)は、該当する番号キー、ESC キーもしくは Enter キーを入力して下さい。

文字背景が赤色の時、<0>(ゼロ)キーを押すとオートスキャンモードに切り替わります。オートスキャンは次の方法にて終了します。

オートスキャンキー、Enter キー：現在表示している画面に切り替わります。

ESC キー：オートスキャンを始めたときのサーバーに戻ります。

注意事項

オンスクリーン表示はノンインターレースのビデオ信号を推奨します。

(但し、インターレース信号でも 1152×864、1280×1024、1600×1200 の解像度の場合は表示可能です。それ以下の解像度の場合、画面をはみ出すことがあります。)

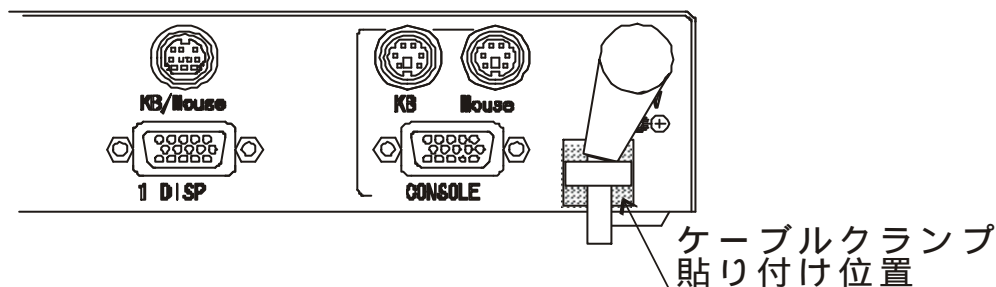
LOW POWER LED について

本機の電源電圧が正常かどうか監視します。電圧が低下した場合は点灯（赤色）しますので、専用 AC アダプタを接続してください。

専用 AC アダプタについて

本機は通常の使用形態では、外部電源を必要としない設計になっております。ただし、消費電流の大きなキーボードやマウスを接続する場合や、カスケード接続でご使用になる場合には、本機の電源電圧が低下する場合があります。このような場合には、LOW POWER LED が点灯(赤色)しますので専用 AC アダプタをマスター側にだけ接続してください。

1. 専用 AC アダプタはオプションですが、必ず弊社指定の専用 AC アダプタをご使用ください。適合しない AC アダプタでのご使用は正常動作しないばかりか故障の原因になります。また、保証対象外ですのでご了承ください。
2. カスケード接続において専用 AC アダプタを接続する場合は、必ずマスター側に接続してください。
3. 専用 AC アダプタからの電源供給はすべてのサーバーの電源が OFF になると、自動的に OFF となりますが、本機を長時間ご使用にならない場合には、専用 AC アダプタは安全のため AC コンセントから外してください。
4. AC アダプタは抜け防止のため下図の通り添付のケーブルクランプにてケーブルを固定して下さい。



仕 様

項 目		仕 様
型名 (名称)		GP5-SB102 (CRT/KB 切替器)
接続台数 (カスケード接続時)		最大 8、(最大 64)
選択方式		セレクトスイッチ、キーボード (ホットキーモード)
LED 表示		PC POWER x 8、PC SELECT x 8、LOW POWER x 1
コンソール ポート	KB	PS/2、Mini DIN 6P メス x1
	Mouse	PS/2、Mini DIN 6P メス x1
	モニター	Mini D-SUB 15P メス x1
PC ポート	KB / Mouse	PS/2、Mini DIN 10P メス x8
	モニター	Mini D-SUB 15P メス x8
ホットキーモード		マニュアル / オートスキャンモード
オートスキャン周期		3/5/10(初期値)/20/40/60 秒
モニター解像度、帯域巾		1600 x 1200、200MHz
電 源		DC+5V ± 5%(サーバーの KB、マウスポートから供給)
消費電流		最大 190mA (各サーバーの最大消費電流) (最大 470mA : サーバー 8 台接続時の切替器全消費電流)
KB/Mouse 供給可能電流		最大 150mA(ACアダプタ未使用時) 最大 300mA(ACアダプタ使用時)
動作周囲温度 / 湿度		10 ~ 35 、 20 ~ 80%RH
保存温度		-5 ~ 55
構 造		金属ケース、塗装 (アイボリー色)
外形寸法、質量		437 (W) x 200 (D) x 42 (H)、2.8 kg
設置形態		ラックマウント : 分離型
オプション (別売)		専用ケーブル (KB / マウス分岐、モニター) AC アダプタ

オプション (別売)

● 専用ケーブル

名 称	型 名	備 考
CRT ケーブルセット (1.8m)	GP5-414	カスケード用
一体型専用ケーブル (5m)	GP5-413	サーバー本体 ~ 切替器用
一体型専用ケーブル (1.8m)	GP5-416	サーバー本体 ~ 切替器用

● その他

名 称	型 名	仕 様
専用 AC アダプタ	GP5-SBPU1	センター入、DC9V/1.4A

トラブル対策

症 状	原 因	対 策
LOW POWER LED が点灯した	消費電流大の KB、マウスを接続した	専用 AC アダプタを接続する
	カスケード接続した	専用 AC アダプタをマスター 側に接続する
KB、マウスの動作がお かしい / 動作しない (プログラブル/コードレス、 ホイール付マウス等の特殊仕 様タイプ)	サーバー側の KB、マウスが逆接続	正しく接続する
	ホットキーモードが解除されていない	<Enter>か<Esc>キーを押す
	キーリピートがおかしい	サーバーのキーリピートのス ピードの設定を変更する
	接続 / ケーブル不良	コネクタの接続を確認する 別ケーブルと交換し、問題が 解決したら、良品ケーブルに 交換する
スクロール機能及びボ タン等が動作しない	サポート外の KB、マウスを接続	サポート内の KB、マウスに 交換する
	サポート外のマウスを使用した	サポートしているマウスに交 換する
画質が劣化する (ゴーストや文字のニ ジミ等)	専用ドライバをインストールしてない	専用ドライバをインストール する
	接続 / ケーブル不良	コネクタの接続を確認する 別ケーブルと交換し、問題が 解決したら、良品ケーブルに 交換する
切替えると画面がずれ たり、表示できない	解像度が違う	解像度を合わせるか、モニタ ー側で調整する
	モニター未対応 / 同期が取れない	対応 (マルチシク) モニターにする モニター側で調整する
オートスキャンモード にならない	ホットキーモードになっていない	ホットキーモードにし、数字 キー(0)を押す
	キーが間違っている	数字キー(0)を押す
ホットキーモードで切 替えできない	キーが間違っている	1 段目は数字(1~8) 2 段目は F1~F8 を押す
オートスキャンの切替 周期がおかしい	切替周期が調整されていない (初期値 10 秒)	カーソルキー(,)で調整す る
今まで動いていたのに 突然動かなくなった	接続が外れた	接続を確認し、再起動する
	切替器がハングアップした	リセットスイッチを押す
	サーバーに不具合が発生した	サーバーの不具合を直す
サーバーを ON しても 本機の LED が点灯し ない	サーバーの KB/マウスポートの電源 回路用保護素子が破損した	サーバーの不具合を直す
カスケードを認識しな い	切替器に不具合が発生した	リセットスイッチを押す (スレーブ、マスター両方)

付録 . サーバ名称記録シート

本切替器に設定したサーバ名称の控えを記録しておきます .

Master Unit	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Slave Unit Port.1	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Slave Unit Port.5	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Slave Unit Port.2	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Slave Unit Port.6	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Slave Unit Port.3	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Slave Unit Port.7	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Slave Unit Port.4	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

Slave Unit Port.8	
NO.	NAME
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	

